

経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県岡山市久米南町国民健康保険病院組合 国保福波病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	3,860	第2種該当	-	10：1

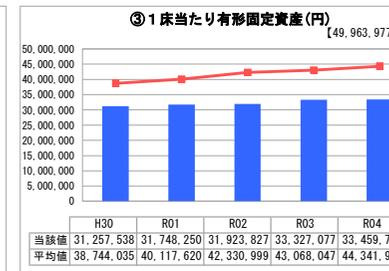
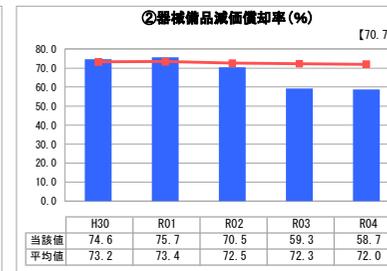
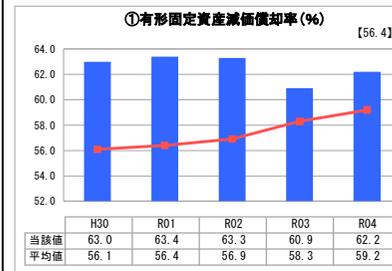
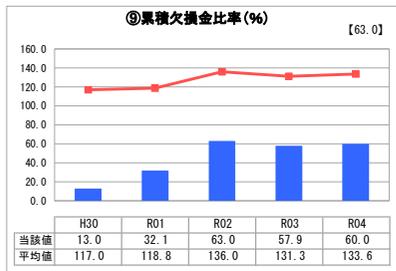
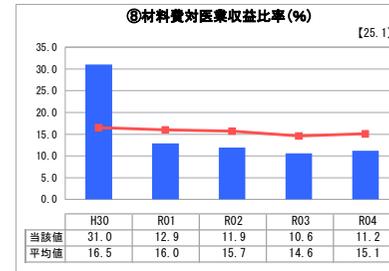
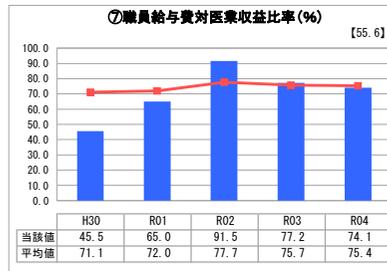
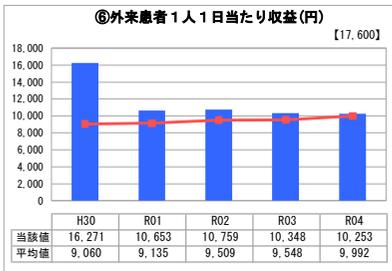
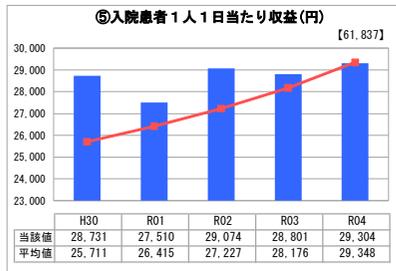
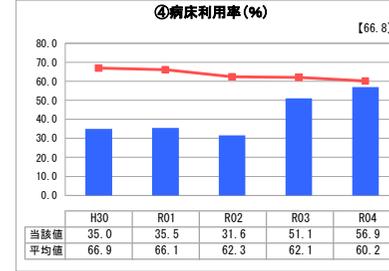
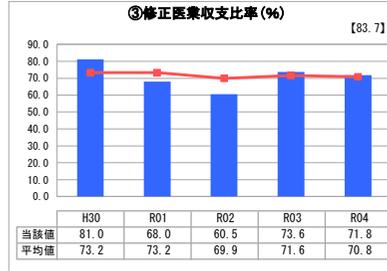
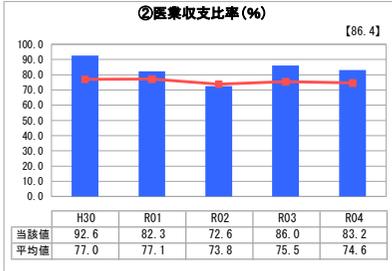
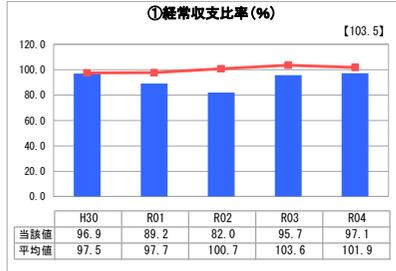
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
52	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	52
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
40	-	40

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の病棟・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域住民のニーズを踏まえた運営を念頭に、①過疎地域での医療、在宅医療の充実により地域住民の医療・介護・福祉の確保、②24時間対応可能な救急医療体制の維持、③県中部に立地する唯一の透析施設としての機能確保、④過疎地域での職場の確保、⑤生活習慣病予防等の機能を果たし、地域の健康を守り、地域の医療崩壊を食い止めるべく、可能な限り住み慣れた場所で安心して、自分らしい生活ができるよう支えている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度まで低迷していた「④病床利用率」は、令和3年度の新院長の就任を機に回復の兆しが見られ、入院収益が増加したこと等により、令和3年度から「①経常収支比率」は改善されている。「②医療収支比率」が昨年度より下がった要因は令和3年度に導入した電子カルテ、CT等の高額な機器による減価償却費の増や人材不足に苦慮していた調理業務を委託へ変更したこと等が主な要因であるが、今後の業務運営のためには必要な経費であると認識している。

「⑦職員給与費対医療収益比率」は令和2年度の決算統計の給与費積算方法の変更により大きく悪化した。医療収益の改善により令和3年度からは類似病院平均値と同程度で推移している。令和元年度からの「⑧材料費対医療収益比率」の減少は院外処方へ移行したことによる。

2. 老朽化の状況について

R3年度は電子カルテの導入、CTの更新、R4年度は内視鏡システム・X線TVシステムの更新等昨年に続き大きな機器の投資を行ったため「②器械備品減価償却率」は改善されている。今後も適正な更新をし、機器の安全管理に努め、計画的な投資を行っていく。建物は随時改修しており、減価償却率は64.3%で、比較的良好な状態で保たれているが、建物（本館）は45年経過しており、今後、構成団体等と協議を進める必要がある。

全体総括

令和元年度、令和2年度は患者数が激減し、経営改善が喫緊の課題だったが、令和3年度に新院長を迎え、施設基準の見直しや電子カルテの導入等、業務の効率化を図り、入院収益は倍近くに伸び、回復の兆しをみせている。しかし、医師不足は深刻で、地域の医療ニーズに十分応えきれていない部分もある。

過疎化が著しく進んでいるこの地域で唯一の病院として、持続可能な地域医療連携体制を確保するために、構成団体と連携をとり、常勤医師の確保の方策を検討し、限られた医師・看護師等の医療資源を最大限活用し、住民が必要とする医療を継続して提供できる体制の構築に努める。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。